

Press Release 2021.08.26

和田誠展 プレスリリース



1



2



3



5



6



4



7



8



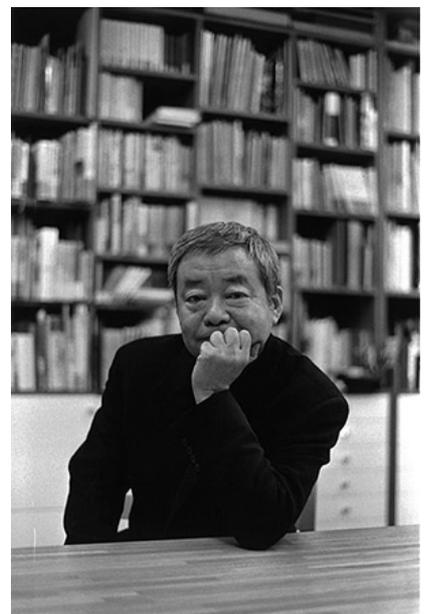
9

知っているようで知らなかった和田誠を紐解く展覧会

2019年に逝去した和田誠（1936-2019）は、イラストレーター、グラフィックデザイナーとして広く知られています。ほかにも映画監督、エッセイスト、アニメーション作家、作詞・作曲家、編集者など、様々なジャンルで活発な創作活動を行いました。いずれのジャンルでも一級の仕事を残し高い評価を得ており、その膨大で多岐にわたる全体像は計り知れません。

本展は、和田誠の仕事の全貌に迫る初めての試みです。代表的な仕事を中心としたビジュアル年表や和田誠の輪郭をとらえる上で欠くことのできない約30のトピックスを軸に、およそ2,800点の作品や資料を紹介します。

展示室では週刊文春の表紙の仕事はもちろん、手掛けた映画の脚本や絵コンテの展示、CMや子ども向け番組のアニメーション上映も予定しています。私たちは和田誠の仕事の断片的に知ることはあっても、その全体像を見る機会はそれほど多くはなかったでしょう。本展では和田誠の多彩な作品を展覧しつつ、幼少期に描いたスケッチなどを交え、その創作の源流を紐解きます。誰もが知っているようで、実は知らなかった、和田誠の膨大な仕事に触れるかつてない展覧会です。



©Wada Makoto photo: 吉田宏子

本展の特徴

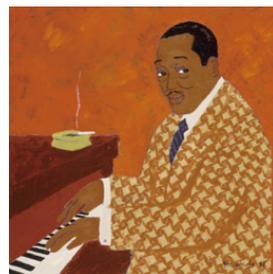
1. **全世代が知る国民的イラストレーターの仕事を一挙公開。和田誠の仕事、総数約2,800点を展覧**
書籍と原画だけで約800点。週刊文春の表紙は2000号までを一気にご覧いただけます。
2. **貴重なオリジナル作品の数々**
学生時代に制作したポスターや初期に製作したアニメーションを紹介。
3. **展示構成に張替那麻を起用**
エリック・カール展 (PLAY! MUSEUM) などの展示構成を手がけた建築家の張替那麻 (Harikae) が構成を担当。
4. **約30のトピックスで和田誠の全仕事を紹介**
展示構成を特徴的なトピックスにわけて和田誠が携わった仕事の全貌を展覧します。以下に主なトピックスを紹介します。



10

□似顔絵

身近な人物を描いた小学生から高校時代の資料と、様々なジャンルの著名人の似顔絵を紹介。



11

□絵本 谷川俊太郎との絵本

最もよく知られる作品の数々。表現スタイルの広さも紹介。

□パロディ

代表作の一つ『倫敦巴里』は今なお人気の名作。和田のユーモアを感じる作品を紹介。

□高校生まで

4歳の頃に描いた絵物語や小学生のときの詩集など、貴重な資料を展示。



12

□大学生時代

多摩美術大学在学中に制作したLPジャケットや日本宣伝美術会賞を受賞したポスター「夜のマルグリット」などを展示。

□ライトパブリシティの仕事

大学卒業後に入社した、広告制作会社ライトパブリシティの仕事を紹介。「ハイライト」の版下など60年代の仕事を紹介。



13

□映画監督

映画ファンとしてだけでなく、映画監督としても活躍。貴重な脚本や絵コンテなどを展示し、和田の映画製作を紹介。

□新宿日活名画座

ポスターの印刷所で声をかけられ、約9年間無償で制作した新宿日活名画座のポスター。初期の代表的な仕事の一つ。



14

□草月アートセンター

60年代に公演ポスターを製作するなどしてかかわり、現代音楽家やアーティストと交流を深めた。

□ジャケット

音楽が好きだった和田誠によるレコードジャケットを現物で紹介。

□装丁作家との仕事

丸谷オーや村上春樹など様々な作家の装丁の仕事、原画を交えて紹介。

□週刊文春

40年以上担当し、2000号分を制作。原画や色指定紙、モチーフにしたオブジェなども展示。



15



仕事場の作業机 photo:HASHIMOTO Hirotaka

和田誠

1936年大阪に生まれる。多摩美術大学図案科（現・グラフィックデザイン学科）を卒業後、広告制作会社ライトパブリシティに入社。1968年に独立し、イラストレーター、グラフィックデザイナーとしてだけでなく、映画監督、エッセイ、作詞・作曲など幅広い分野で活躍した。たばこ「ハイライト」のデザインや「週刊文春」の表紙イラストレーション、谷川俊太郎との絵本や星新一、丸谷オーなど数多くの作家の挿絵や装丁などで知られる。報知映画賞新人賞、ブルーリボン賞、文藝春秋漫画賞、菊池寛賞、毎日デザイン賞、講談社エッセイ賞など、各分野で数多く受賞している。

【和田誠展 開催概要】

展覧会名：和田誠展

会期：2021年10月9日[土] - 12月19日[日] *72日間

会場：東京オペラシティ アートギャラリー

開館時間：11:00-19:00（入場は18:30まで）

休館日：月曜日

入場料：一般1,200 [1,000] 円/大・高生800 [600] 円/中学生以下無料

主催：公益財団法人 東京オペラシティ文化財団

協賛：日本生命保険相互会社

特別協力：和田誠事務所、多摩美術大学、多摩美術大学アートアーカイブセンター

企画協力：ブルーシープ、888 ブックス

お問い合わせ：050-5541-8600（ハローダイヤル）

- *同時開催「収藏品展 072 難波田史男 線と色彩」「project N 84 山下紘加」の入場料を含みます。
- * [] 内は各種割引料金。障害者手帳をお持ちの方および付添1名は無料。割引の併用および入場料の払い戻しはできません。
- *新型コロナウイルス感染症対策およびご来館の際の注意事項は当館ウェブサイトをご確認ください。

最新の情報は随時当館ウェブサイト、SNS および特設サイトでお知らせします。



和田誠展 ティザーフライヤーなど

画像クレジット

- 1 『ぼくは王さま』 (文・寺村輝夫) 表紙 1967 理論社 多摩美術大学アートアーカイブセンター蔵
- 2 『「徹子の部屋」の30年』 表紙 2007 講談社
- 3 『とぶ』 (文・谷川俊太郎) 1978 福音館書店 多摩美術大学アートアーカイブセンター蔵
- 4 『密林一きれいなひょうの話』 (文・工藤直子) 2018 瑞雲舎 (1975 初版 銀河社) 多摩美術大学アートアーカイブセンター蔵
- 5 『ねことヴァイオリン』 会報誌表紙 1979 多摩美術大学アートアーカイブセンター蔵
- 6 『ことばのこぼこ』 より 1995 瑞雲舎 (1981 初版 すばる書房)
- 7 『サニーサイドアップ』 表紙 1980 CBS ソニー出版 多摩美術大学アートアーカイブセンター蔵
- 8 『夜のマルグリット』 ポスター 1957 多摩美術大学アートアーカイブセンター蔵
- 9 『あめだまをたべたライオン』 (文・今江祥智) 1977 フレーベル館 多摩美術大学アートアーカイブセンター蔵
- 10 『ぬすまれた月』 1963 岩崎書店 多摩美術大学アートアーカイブセンター蔵
- 11 『デューク・エリントン』 個展「JAZZ」 1992
- 12 『マザー・グース 1』 (訳・谷川俊太郎) 表紙 1984 講談社
- 13 『新宿日活名画座』 ポスター 1961
- 14 『21頭の象』 1960 ライトパブリシティ 多摩美術大学アートアーカイブセンター蔵
- 15 『週刊文春』 表紙 2017

■本展覧会に関するお問い合わせ

東京オペラシティ アートギャラリー 【企画】福島直 【広報】市川靖子、吉田明子

Tel : 03-5353-0756 / Fax : 03-5353-0776 / Email : ag-press@toccf.com